

なかねっぴーと ひなんくんれん





お話のはじまり
はじまり

むかし むかし。

うしくというところに なかねしょうというがっこうが ありました。なかねっぴいは こどもたちのリーダーです。いっしゅうかんごに ひなんくんれんというのに だれもが なにもかながえていません。なかねしょうのかみさまは

「これでは こどもたちの かけがえのない いのちが あぶない」

と そのよる なかねっぴいの ゆめのなかに そーっと はいりこむのでした。



ゆめのなかの ちいさながっこうに なつこさんと ふゆこさんという なかよしのおんなの子が おりました。いつも いっしょに あそんでいました。



ある日のことです。おおきなじしんと つなみが がっこうをおそったのです。子どもたちは せんせいのいうとおり やまににげました。それから すうふんご つなみが がっこうのあたりまで おしよせてきたのです。たすかったなつこさんは ふゆこさんを さがしました。しかし どこにもいません。ふゆこさんは きょう がっこうをやすんでいたのです。なつこさんは ふゆこさんのことが しんぱいで しんぱいで たまりませんでした。



つぎの日のことです。おかあさんが あわてて ひなんじよにもどってきました。

「なつこ！たいへんよ。ふゆこさんが なくなったそうよ。なんでも ぐあいがわるくて ひとりで いえでねていたときに じしんがきて やねのしたじきになったそうよ」

「うそだ。そんなはずはないわ。きのうまで いっしょに あそんでいたのよ——」

なつこさんの めに おおつぶのなみだが あふれてきました。



その日いらい なつこさんは まっかな ゆうひにむかって
いのるようにいうのでした。
「ふゆこさん どこにいるの？
はやくかえってきて
また いっしょに あそぼう！。
わたし さびしいわ。
いつものように あそぼうよ。
ね！
だから はやくかえってきて！」



ふとみると となりのいえのおかあさんも ゆう日にむかって
めに なみだをうかべながら つぶやいているのです。

「ぼうや げんきにしている？」

いつものように

『おかあさん ただいま』

って よんでちょうだい！

そしたら こもりうたを うたってあげるからね！」

となりのいえでも かわいいおとこの子が なくなったのです。

なかねっぴいーのむねが ジーンとあつくなって なみだがこ
みあげてきました。「かけがえのない いのちを じしんやつな
みから まもらなくちゃ！」と つよく つよく おもうのでし
た。そのときです。なかねしょうの かみさまが なかねっぴい
ーのゆめから そーっと さっていくのです。



な かねっぴいーが めをさまして いいました。

「そうか ひなんくんれんは かけがえのない いのちを まもるために おこなうんだ。しっかり さんかしなくちゃ！」
それからというもの じしんやつなみが おきたときに どうしたらよいのか ともだちにきき せんせいにきき おとうさんやおかあさんにきき きんじょのひとにも きいて みんなで学び合いました。そして うしくでは つなみのしんぱいがないことがわかり じしんについて しっかりかんがえることにしたのです。

じしんがおきたら まずつくえの したなどにかくれること。あわてて そとにとびださないこと。そとでじしんがきたら たてものに ちかよらないこと。あいことばを

「じぶんの いのちを まもる」と
かく と ちからが できる！」

としたのです。それから きんじょのひとと きょうりよくして ひなんじょまで あるいていくこと。こうすることで まず じぶんのいのちを まもること。そして みんなの いのちをまもるために かかわりあい・みとめあい・ささえあって こうどうすること などでした。

なかねっぴいーは なかねしょうのかみさまから まなんだ
「かけがえのない いのちの たいせつさ」を みんなにつたえ
いかして ひなんくんれんを せいこうさせたのでした。



① つくえのしたにかくれる



② そとにとびださない



③ たてものに ちかよらない



「じぶんの いのちを まもる」と
かく と ちから が できる！」

かけがえのない いのちをまもろう！

や がて なかねしょうがっこうは かけがえのない いのち
を たいせつにする じしんにつよい がっこうになり うしく
のまちも じしんにつよい まちに なっていったのです。



お話のおしまい



※ さんこうに・・・

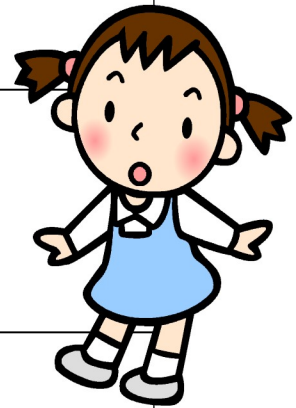
「かまいしの きせきにまなぶ！」

むかし ひがしにほんだいしんさいが どうほくちほうで お
こりました。たくさんのがとが なくなりました。しかし かま
いし というところでは ほとんどのこどもたちの いのちが
すくわれました。そのひみつは

- ① 想定（そうてい）に とらわれるな。
- ② さいぜんをつくせ。
- ③ 率先（そっせん）して ひなんせよ。

だったそうです。
しかし もっとも たいせつなことは

じぶんのいのちは じぶんでまもる。



ことです。「じぶんで どころが あんぜんなのか どころが
きけんなのか」つねに かんがえておくことがたいせつです。

うしくしりつ なかね しょうがっこう

こうちょう はせがわ やすお かんしゅう

いいだ あきお ぶん・え



な か ね し よ う が つ こ う
中根小学校